

めぐみ 慈恵

鎮西敬愛学園通信

No. 65 2016年 冬号

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒800-0035 北九州市門司区別院6番1号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒800-0057 北九州市門司区大里新町11番7号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



敬愛高等学校 第66回卒業証書授与式
2月15日

いづば

この世に一人しかない自分という存在を
先ず認めてやりなさい

瀬戸内寂聴

私の思いなど到底及ばない遙か遠い過去から、途切れることなく続いてきた時間の流れの中で、ありとあらゆる縁が調って、今ここに生かされているのが私のいのちです。私というかけがえのない存在が、無量の恩恵に包まれ、育まれてきた事実がそこにはあります。

ところが、私たちはそうした自分自身の存在の大きさになかなか気がつきません。些細なことで人と比べては優劣を判断し、一喜一憂しながら、お互いに傷ついたり傷つけたりを繰り返しています。比較するものによつてどうにでも結果が変化するような評価に振り回され、本当に大切なものを見失っているような気がします。

本来、比べる必要など微塵もないのちです。もちろんそこには優劣もありません。生かされて生きるいのちそのものが何にも増して尊いのです。

誰もがこの世にただひとりの存在です。それは決してそれぞれが個々に独立して存在しているということではありません。お互いがつながり合い、支え合うことで成り立つこの世界において、私が私としてあることの尊厳に気づき、一つひとつのいのちの輝きをしっかりと受け止めていくことが、平和で豊かな社会の実現につながるのではないのでしょうか。

まずは自分自身の存在を認め、今ここにあるいのちを大切にしていきたいと思えます。それはすべての存在を認め大切にしていくことでもあります。

宗教科 谷川 宏済

答 辞

長い冬がようやく終わりを告げ、私たちを照らす日差しにも、少し春の訪れを感じようになりました。そんな日差しを浴びながら、梅のつぼみが膨らみ始めた今日の良き日に、私たちは卒業します。御来賓の皆様を初め、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、このように厳粛な卒業式を挙げて頂きましたことを、卒業生一同、心から感謝申し上げます。

時が過ぎるのは思った以上に早く、まだ真新しい制服を身に纏い、初めてこの学校の門をくぐった日から、三年、あるいは六年が経ってしまいました。振り返ると、数え切れないほどたくさん思い出が頭の中を駆け巡ります。体育大会や敬愛祭では、クラスや実行委員、クリエイターというように、様々な場面で、それぞれ自分の力を発揮しました。目の前に立ちほだかる壁を、皆で乗り越え、絆を深めることができ、一人一人の成長にもつながったと思います。また今年は、創立90周年記念の節目の行事に立ち会うことができ、敬愛の歴史の長さを改めて実感しました。このような記念の年に卒業を迎えられたことに、この学園との深いご縁を感じずにはいられません。たくさんさんの思い出は、多くの人たちとの関わりの中で生まれたものばかりです。そして、そんなひとたちに囲まれて、私たちは成長してきました。

先生方は、授業や補習を通して、多くの知識、また私たちが大人になっていく上で必要なことを教えて下さいました。

時には私たちと同じ目線になって楽しく会話をし、時には私たちのために厳しく指導して頂きました。

既に卒業された先輩方は、私たちの憧れの存在で、いつも前を歩いてくれました。その先輩方の優しさに触れ、その姿を見ながら、私たちは自らを奮い立たせていきました。そしていつも元気に挨拶をしてくれた後輩の皆さん。卒業生の中には、部活動や行事を通してつながった後輩との思い出がたくさんある人も多いと思います。私にも、生徒会活動を通して、一番身近にいてくれた後輩たちがいます。頼りない私にも、「先輩、先輩」とついてきてくれて、そんな後輩たちが、私を先輩にしてくれました。こんなかわいい後輩をもてたことを、私は誇りに思っています。

また、いつもそばにいて、楽しい時間を一緒にたくさん笑って過ごした、友達。いつも近くにいる存在で、しょうもないことで笑いあったり、時にけんかしたり、辛いときには、お互い慰め合ったりともに歩んできました。そんな友達とここで出会って、そして一緒に今日を迎えられたことを、私は幸せに感じています。

そして最後に、なかなかその大切さに気付かず、感謝の気持ちさえ伝えられずにいますが、いつも陰で支えてくれていて、家族。身勝手な行動や、素気ない態度できっとたくさん心配させて、悲しませたことと思います。それでもいつも帰りを待っていてくれる家族に、本当に感謝しています。こんなにも多くの人たちに支えられながら敬愛で過ごせたこと

に、心から感謝しています。そして、何気なく過ぎ去った毎日は、私にとつてかけがえのない宝物です。

これから私たちが歩みだす所は、決して楽しいことばかりではないと思います。それに、新たな場所での出会う人たちがいつも手を差し伸べてくれる人たちがばかりとも限りません。これまでにないような辛い経験もするでしょう。そんな中でも自分を失わず、立ち向かえるくらいの力を持てる人になり、今の世の中を生きていきたいと思っています。

私たち卒業生は、これから始まる新たな生活と、新たな出会いに、期待や不安、それぞれ異なった思いを胸に、今ここに立っています。そして今日からまた、一人一人違う道の続きを歩んで行きます。進む先に何が待っているかはわかりません。ただ、思い描いていた通りの未来でも、たとえそうでない未来であつたとしても、またその先続く道を自らの足で力強く歩んで行くことをここに誓い、答辞とさせていただきます。

平成28年2月15日

卒業生代表 古元日奈子



卒業生からのメッセージ

菊竹佳奈（横代中）特進Sコース

北九州市立大学 外国語学部 合格

『敬愛での3年間』

敬愛で過ごした高校生活は私にとってかけがえのないものです。多くの友人や先生方に囲まれ、学業や学校行事などにも積極的に参加し、貴重な経験をさせていただきました。それぞれの目標に向かって、ともに切磋琢磨しあえるような仲間の存在は3年間を通して、私に多くのことを教えてくれました。

朝や休み時間、放課後といつでも親身になって相談にのっていただいた先生方にも感謝しています。周囲の方に応援していただけるありがたみや目標を持ち粘り強く努力を続けていく大変さと大切さをこの敬愛で学びました。

多くの経験により精神面でも成長することができ、敬愛高校に入学してよかったと思います。

有働莉奈（敬愛中）特進Sコース

関西外国語大学 外国語学部 合格

『敬愛で学んだこと』

私は6年間敬愛で学び、多くのことを得ることができました。敬愛は仏教校ということもあり、周りの学校と違うところがたくさんあります。私は「仏教」の授業が大好きでした。毎回先生が話してくれる内容はとても面白くて、先生の話に耳を傾けていると、最後にはいつも深い話に変わっていて、そういうものの見方もあるんだと学ばされました。この「仏教」のおかげで、今では人とのつながりを大切にすることができています。目には見えないところでも、いろいろな人とながつていて、私は生かされています。そんなことに気づけたのは、敬愛高校のおかげです。

原健介（安岡中）進学コース

福岡大学 法学部 合格

『縁』

敬愛の先生方は、忙しい時でも時間を作ってください、放課後や昼休みなど親身になって話を聞いてくださいました。

大学選びに関すること、また、社会に出て必要な知識のことや、仕事のことなどを教えていただいたので、自分の将来について考えやすくなりました。たくさんの先生方からアドバイスをいただいたこともあり、自分の行きたい進路を見つけることができました。

日頃の学習面のサポートもあり、志望校に合格することができました。こんなにも支えていただいたことに感謝しています。在校生のみなさん、わからないことがあればいろいろな先生に相談してください。きっと考えるためのヒントを得ることができるはずです。



学習発表会

2月28日(日)に、学習発表会が行われました。1年生は、群読劇「ブ

レーメンの音楽隊」を英語を交えて披露。見事な感情表現で、観ている人に感動を届けてくれました。2年生は、これまで暗唱してきた古典作品を詳しく調べ、パワーポイントでまとめて発表しました。堂々たるプレゼンテーションに会場から多くの拍手を頂き、子どもたちの自信に繋がったようです。3年生の「モチモチの木」の群読では、怖がりの主人公である豆太の心の動き、大切なじさまのために夜道をひた走る様子が伝わってきました。4年生は家族や周りの方々への感謝の想いをテーマに合唱・合奏を披露しました。4年生らしい温かみあふれる歌声が、アリーナを包み込みました。5年生は、英語劇「十二支のはじまり」に挑戦。



1年生から学んできた英語の表現力や発音を活かし、素晴らしいステージを披露してくれました。6年生は自分の目指す将来の夢について英語を交えてスピーチしました。中学校での更なる飛躍を期待させる堂々たる発表でした。

どの学年も日頃の学習の成果を発揮して素晴らしい学習発表会となりました。

特集

敬愛の教育 学力向上を目指して

今年度より各学期に学んだ内容が定着できているかを確かめるために、教科担任が作成した期末テストを始めました。このテストで自分の苦手な部分に気づき、復習をして確かな学力となるように指導をしています。

また、これまで希望者のみ受験してきた漢字検定を、今年度より各学年に取得目標級を設定し、全員が受験するようにしました。全員で目標に向かって取り組むことで、これまで以上に高い意識をもって学習に取り組むことができました。漢字検定協会からは、iPadを使った漢字学習が先進的な取り組みであると注目を頂いています。



希望者対象の英語検定は、受験する子どもたちの意欲は高く、中には準2級や3級を取得している児童もあり、更に上の級へ挑戦し続けています。

センター試験が変わろうとしており、これまで以上に外部検定の活用が進んでいくことでしょう。これからも日々の授業を充実させ、定着した学力を発揮する場として様々な検定やテストに挑戦する機会を作っていきたいと思えます。



ご門主様ご巡回記念行事



雅楽体験(6年生)



お茶会

本校では、1〜6年生まで茶道を通して自国の伝統・文化に触れ、礼儀作法を学んでいます。学年が上がるにつれて、学ぶ所作が難しくなります。学んだ作法を発表する場として、お茶会の授業参観があります。3年生は菓子やお茶のいただき方など客の作法を参観して頂きました。5年生は、柄杓を使って炉釜の湯をくむ所作が増え、大変苦戦していましたが、保護者の方を招待してお茶会では、練習の成果を十分に発揮し、上手にお点前をすることができました。

6年生の音楽では、日本の伝統的な音楽について理解を深めることをねらいとして、敬愛中学校・高校の雅楽部の皆さんに雅楽体験授業を行って頂きました。子どもたちは、教科書のCDで聴いた独特の音色を、実際の生演奏で楽しむことができました。また、先輩たちが丁寧に楽器の説明をしてくださり、音が出る仕組みや演奏方法を学び、実際に楽器に触れることで、日本伝統の音楽の世界を深く味わうことができました。

ご門主様の北豊教区御巡拝にあたり、記念行事の一環で、本校児童による合唱を披露することとなりました。ステージの緞帳裏ではリラックスしていた様子も見られましたが、幕があがると同時に、表情が引き締まり、子どもたちの清らかな歌声が、別院を優しく包み込みました。演奏を終えた後には、ご門主様からお褒めの言葉を頂き、ご参拝の方からまた皆さんの拍手を頂戴しました。子どもたちにとって思い出に残るステージになったことと思えます。

幼稚園通信

寒さに負けない

丈夫な身体作り

毎日取り組んでいるリズム体操・園庭のマラソン。年間を通して取り組むことで、子どもたちの体力もぐんとついてきました。冬は特に丈夫な体をつくる為、学園の外周を走り、マラソンに取り組んでいます。外周は起伏に富んでいて体力が必要とされますが、日々の積み重ねにより、最後までしっかりと走りぬく力もつきました。転んでも自分で立ち上がり走り出す逞しさも育ち、心も体も丈夫になっています。

マラソン大会当日は、たくさんの応援の中、普段以上の力を発揮し、全員が完走することが出来ました。最後までやり抜くことが出来、子どもたちの自信となったようです。



雪がたくさん降りました

暖冬と言われていた今年の冬。1月にまさかの大雪となり、幼稚園にも雪が積もりました。当日は自由登園に参加した子どもたちと雪遊びを楽しみました。雪合戦や雪だるま作りなど、子どもたちにとって、普段経験できないとても刺激のある時間となりました。



ホールの玩具がリニューアル

1階ホールの玩具がリニューアルしました。温かみを感じる木の玩具を用意しています。小さなお子様向けの玩具もあります。園へお越しの際はどうぞご使用下さい。

園の見学も随時募集中です。平成28年度未就園児親子教室ドリームキッズの予定もしています。たくさんのご来園をお待ちしています。



みんな大好き ごっこ遊び

毎年3学期に異年齢保育【仲良しデー】でごっこ遊びをしています。身近な店や施設を決めることから子どもたちと考え、レストラン・病院・バス会社など、様々な施設に決まりました。そして、何を作るか、どんなサービスをするか、店の構造はどうするかなどを一緒に考えました。2月の【仲良しデー】で、各クラスの店・施設を準備し、小さな敬愛タウンを作りました。

ごっこ遊びが始まると「いらっしやいませ。何名様ですか?」「どちらまで行きますか?」と元気な声が響き渡りました。

ごっこ遊びは記憶力・演技力・創造力・観察力・想像力・コミュニケーション力など大切な能力が育ちます。子どもたちは遊びを楽しみながら様々なことを学べる機会となりました。



法話

浄土真宗本願寺派
乗泉寺 住職

乗永孝志 師

大悲無倦常照我（正信偈）

だいひむけんじょうしようが
〈如来の大悲は倦きことなく常に我を照らす〉



イソツブ物語に「ロバを売りに行く親子」という話があります。こんな話です。ある親子がロバを売するため市場へ出かけた。二人でロバを引いて歩いて行くと、それを見た人が言う。「せつかくロバを連れてくるのに乗らずに歩くなんてもったいない」。なるほどと思ひ、父親は息子をロバに乗せる。しばらく行くと別の人がこれを見て、「元氣な若者が樂をして、親を歩かせるとはひどい」と言うので、なるほどと今度は父親がロバにまたがり息子が引いた。それをまた別の者が、「自分だけ樂をして子供を歩かせるとは悪い親だ。一緒に乗ればいいだろう」と言う。それはそうだと二人でロバに乗る。するとまた、「二人も乗るなんてロバがかわいそう」と別の人。それではと、一本の丸太にロバの両足をくくりつけ吊り下げ担いで歩く。橋の上にさしかかった時口

バが急に暴れだし、ロバは川に落ちて流された。親子はただただくたびれた。というお話。この話に出る人達は、誰もこの親子を迷わせようとしている訳ではありませんが、結果として迷わせます。「迷」の字は、何処へ向かえば良いかわからない状態を表します。私達は、誰の言葉を「たのみ」にして、何処へ向かえば良いのでしょうか。以前ラジオでこんな話を聞きました。ある男がゴルフ練習場で練習中に、ふと誰かの視線を感じた。見られているなら良い所見せねばと、構え直して力一杯スイングすると、なんとボールは勢い良くまっすぐ飛んでいったそう。「どんなものだ」と視線の方へ目をやると、そこには一羽のカラスが居たそう。「俺はカラスの目を気にしていたのか」という話。すると、ラジオのパーソナリティが、「カラスの目でも『力』になるんですね」と締めくくりました。おもしろい話だなあと聞きました。しかし、私達はややもするとカラスの目や他人の言動に振りまわされ、それに応えるためあくせく

と行動し、「こんなはずではなかった」とむなしく終わってしまうような事はないでしょうか。

「大悲無倦常照我」。如来の大悲は、そんな私をあきる事なく、疲れする事なく、怠る事なく、常に照らしておられます。「常に」です。

よしあしの事ばかり問題にして、如来の御恩を聞きもせず問ひもしない私に、「常に」お慈悲ははたらきづめです。

あるお寺の掲示板に、「私のものさしで問うのではなく、私のものさしを問うのである」とありました。

忘恩の我が身を、「常に」照らすお慈悲を通して問ひながら。

称名

鮎は瀬にすむ 小鳥は森にわたしや六字のうちにすむ

お軽同行

本願力にあいぬれば
むなしくすぐるひとぞなき
功德の宝海みちみちて
煩惱の濁水へだてなし

親鸞聖人

中学高校部活紹介

吹奏楽部

報恩講でアンサンブル

11月22日(日)、永明寺(八幡東区)の報恩講にお招きいただき、フルート、クラリネット、サクソフォンで演奏する木管アンサンブルを披露しました。

吹奏楽の基本となるアンサンブルですが、少人数での表現はいつも以上に難しく、曲作りに苦戦しました。

選曲は「川の流れるように」など昭和を代表する耳馴染みの曲を選曲し、最後は宗門校らしく「真宗宗歌」と「恩徳讃」を演奏し、参拝されたみなさんの合唱と合わせて、参加型の楽しい演奏会になりました。

以前、敬愛に勤務されていた先生からお声かけをいただき、貴重な体験をさせていただきました。



柔道部

福岡県教育文化表彰

福岡県教育文化表彰の表彰式で、柔道部の新森涼さんが表彰されました。

福岡県教育委員会表彰は、福岡県における教育、学術、文化及びスポーツの振興に貢献し、その功績が特に顕著と認められる個人、団体に業績を表彰しているものです。

新森さんは、「表彰式では、68の個人名や団体名が呼ばれ、表彰状を受け取る時は、とても緊張しました。この表彰を契機に更なる高みを目指して頑張りたいと思います。」とこれからも頑張っていく決意を語っていました。



卒業生からのメッセージ

平成21年度卒業 本間敬浩さん

●薬剤師として●

在校生のみなさん、こんにちは。
平成21年度に敬愛高等学校を卒業した本間敬浩です。福岡大学薬学部を卒業し、現在は福岡大学病院の近くの薬局に勤めています。

薬剤師としての仕事は主に調

剤、薬の飲み合わせのチェック、服薬指導です。医師、看護師などと協力し、在宅医療や一般の方向けの公演なども行っています。十人十色の患者さんとお話して、時にはお叱りを受けることもあります。ですが、「病気が治って良かった」「あなたと話せて良かった」と言ってもらえることが、この仕事に対する私のやりがいになっています。

●何事にも全力で●

高校生時代を振り返って皆さんに何を伝えられるか。と考えたとき非常に悩みました。これといっ

て秀でた所もないですし、生徒会や応援団などにも入っていないかったのです。ただひとつ挙げるとすれば学校行事、体育祭や文化祭などは全力で楽しみ、練習したことず。

仲間と一緒に何かをやることの大切さを学びました。高校時代は自身の部活や受験勉強などで正直「学校のイベントなんて面倒くさい」と思う方もいると思います。ただ社会人になって改めて感じることは、「目の前のことに全力にならない人は何事にも全力になれない」ということです。学生時代の思い出は必ず将来にいい影響を与えます。高校時代、クラスのみんで『実写版ちびまるこちゃん』をやったことは今でもいい思い出です(笑)先生方、友達との出会いに感謝しています。

●最後に●

これほど熱く語らせていただきましたが、私自身学生時代、もつといろんなことにチャ



メッセージ募集

「慈恩」では、卒業生の方から敬愛の生徒へ向けてのメッセージを募集しています。ご協力いただける卒業生の方がいらっしゃいましたら電話・FAX・mail などでご連絡ください。

電話：093-381-3537 FAX：093-391-8049
mail：info@keiai.net

レンジしておけばよかった、もつと勉強しておいたらよかったと感じることがあります。周りの大人が「学生時代はあつという間だ」とよく言いますが、その通りだと実感しています！一日一日を大切に、学生生活を楽しんでくださ

高1 特訓講座

3/3(木)～5(土)

高校1年生が3日間、特訓講座に臨みました。自分の将来の夢をもとに大学の学部を決め、ゲストティーチャーをお招きして様々な疑問や質問をぶつけ、意見交流会を開きました。ゲストティーチャーからは、現場の具体的な体験談を聞き、「働く」ことの尊さや意義を感じ取ることができたと思います。そして、その内容をまとめ、学年全体へ発表しました。また、特別講演として、グラヴァンツ北九州ホームタウン推進本部より本部長の下田功様をお招きして「夢・チャレンジ失敗の勧め」のテーマで、ご自身の体験談をもとに、世界で活躍するための秘訣を講演頂きました。

特訓講座で生徒は、「将来の選択肢が増えた」や「夢に挑戦する勇気をもらった」などの感想を持ちました。生徒達の今後の活躍を念じます。

協力いただいたみなさま

グラヴァンツ北九州様

洋建築計画事務所様

新小文字病院様

北九州銀行様

JCS様

イシマル様

安川電機様

芸術家豊田様

ありがとうございました。



高2女子ダンス発表会

～ Dance Exhibition ～



2月24日（水）、本願寺鎮西別院にて高校2年生女子によるダンス発表会が行われました。高校2年生の女子は週1時間のダンスの授業があります。今日の発表会に向けて、ダンスのテーマや構成、音楽、衣装そしてプログラム表まで全てを生徒自身で考え創ります。ダンスの授業だけでなく、放課後なども使いながら練習に取り組んできました。

この日の発表会では、緊張した表情ながら、ステージで楽しそうに踊っている姿をたくさん見ることができました。

ダンス発表会までの過程で学んだことはたくさんあると思います。その学んだことをこれからの生活に役立てていきましよう。



姉妹校交流

三賢女子中学・高校（韓国）

1月18日（月）～20日（水）に、韓国にある姉妹校三賢女子中学校・高等学校の生徒さんたち22名が来校しました。今年は、三賢女子高等学校と姉妹校締結をして30周年を迎える記念の年です。生徒だけでなく、職員や保護者も含めて、隔年で相互訪問し、交流を続けてきました。

滞在中は本校の生徒の家にホームステイをし、日本の家庭生活を体験しました。学校ではホストの生徒と授業を受けたり、腕輪念珠づくりをしたり、また、会話は英語だけでなく、勉強した韓国語やアプリを使って話している敬愛の生徒の姿も見られ、充実した楽しい時間を過ごすことができました。最近メールによる事前交流も行っています。今後もお互いに連絡を取り合い、友情を深めていってほしいと思います。



法話集『慈恩』刊行

学園創立90周年を記念して、これまで広報誌『慈恩』に掲載させていただいた「法話」を一冊にまとめ、法話集『慈恩』として刊行しました。

入手ご希望の方は、学園までお問い合わせください。

お問い合わせ先

TEL 093-381-3537（宗教科：谷川）



小論文コンクール最優秀賞

1月24日（日）に、公益財団法人生涯学習振興財団主催の第17回小論文コンクール授賞式が行われ、高校2年生の赤尾日菜子さんが、最優秀賞で表彰されました。この小論文コンクールは、読売新聞西部本社との共催のもと高校生を対象に、高校教育及び社会教育の見地から、次代を担う青少年の澁刺とした自己形成と、健全な意識形成に寄与することを期待して毎年行われています。今年は「今こそ大志を語れ」というテーマで、個人部門・グループ部門から全国1万2千人を超える参加人数から作品の応募がありました。赤尾さんはその中で沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）に選ばれました。作品は、ウェブサイトに掲載されていますので、どうぞご覧ください。

<http://www.yomiuri.co.jp/kyushu/ad/shorton/result/>

